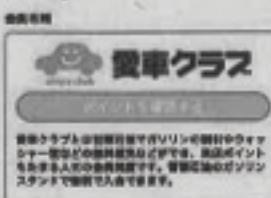
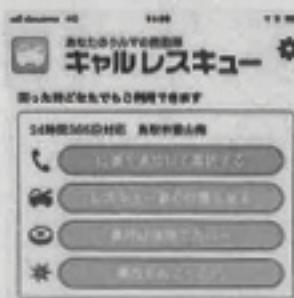


車の救助 アプリで時間短縮



キャルレスキューのアプリを開いたときに表示される画面

智頭石油は2015年から鳥取市の鳥取雲山店で保険会社と提携するなどして24時間のロードサービスをしている。これまでバッテリー上がりやパンクなどの故障や事故をおこした車の対応で8千件ほど出動したが、受け付けから30分ほどで行ける場所に1時間ほどかかることが多いといふ。

利用者の多くは保険会社のコールセンターに電話してロードサービスを依頼するが、受け付けたところでは、全国各地のコールセンターでは土地勘のない人が場所を聞き取ることが多い。その情報が保険会社と提携する出動店に伝えられるという手順を踏むためタイムロスがあるという。

智頭石油では1年ほど前から解決策を模索。「最初に出動拠点に電話があれば時間短縮ができる」と考えたとともに電話がかかり口

ガソリンスタンドやレンタカー事業を展開する智頭石油（本社・智頭町）は今月、スマートフォンのアプリを用いた、車の故障時のロードサービス始めた。一般的な保険会社のロードサービスよりも故障車への到着時間を大幅に短縮できるという。当面は鳥取市を中心としたエリアを対象にし、今後広げていきたいという。

智頭石油、ロードサービス



出動店に電話 位置情報も

ドサービスを依頼できるアプリ「キャルレスキュー」を開発した。アプリは無料で、アップストアやグーグルプレイからダウンロードできる。当面、依頼を受け付ける範囲は鳥取市を中心に、倉吉市から兵庫県新温泉町、南は岡山県西粟倉村までのエリアに限っている。

米井哲郎社長は「全国初の取り組みだと思う。ロードサービスを上流で受け付けることでお客様の利便性がよくなり、カーライフを万全の体制で支えられる」と話す。問い合わせは鳥取雲山店（0857・24・1919）。（長崎理子）

スマートフォンでダウンロードした「キャルレスキュー」（事前）と出動するレスキュー車＝鳥取市雲山